

- [1] 水野 毅, 石野 裕二, 高崎 正也, 原 正之, 山口 大介: 受動支持を併用した磁気軸受における剛性切替制御について, 電気学会研究会資料, マグネティックス・モータドライブ・リニアドライブ合同研究会, MAG-16-176/MD-16-116/LD-16-130, pp.99-103 (2016.12.02).
- [2] 水野 毅: 次世代モノづくりを支える極限メカトロニクス技術, 埼玉大学研究シーズ集 2016-2017, pp.31 (2016.10)
- [3] 水野 毅: メカトロニクスで夢の実現, 理学・工学の散歩道Ⅲ (埼玉大学大学院理工学研究科), pp.74-75 (2016.03)
- [4] 水野 毅, 石野 裕二, 高崎 正也, 原 正之, 山口 大介: パッシブ磁気支持機構における可変剛性を利用した制振制御, 電気学会研究会資料, マグネティックス・モータドライブ・リニアドライブ合同研究会, MAG-15-136/MD-15-119/LD-15-067, pp.13-16 (2015.11.21)
- [5] 原 正之, 山口 大介, 石野 裕二, 高崎 正也, 水野 毅: ロボット技術を用いた RHI 実験システム, 第7回多感覚研究会, 44, (2015.11.7-2015.11.8)
- [6] Wolfgang AMRHEIN, Wolfgang GRUBER, Takeshi MIZUNO, Preface, Special Issue on Advances in Magnetic Bearing Technology, Mechanical Engineering Journal, Vol.2, No.4 (2015.8.15).
- [7] 水野 毅: 環境調和型磁気支持応用技術の体系化 (3.2.3 並列磁気浮上), 電気学会技術報告書, 第 1334 号, pp.50-52 (2015.2)
- [8] 水野 毅: 大学発・技術 PR レポート 計測・制御, 大学技術工房 70, 一般社団法人首都圏産業活性化協会 (TAMA 協会), Vol.4, p.53 (2014.7)
- [9] 水野 毅: 力学への思い 力学と制御, 学術の動向, Vol.19, No.4, pp.40-43(2014.4)
- [10] 水野 毅: 第 18 期の活動を振り返って, 日本機械学会関東支部設立 20 周年記念誌, p.23(2014.3.14)
- [11] 水野 毅: 回転機構を磁気支持することによってジャイロセンサとする技術, JST 発新技術説明会資料集, 独立行政法人科学技術振興機構, pp.91-94 (2014.3.6)
- [12] 水野 毅: 可変キャパシタを利用した容量型アクチュエータ制御システム, 埼玉大学産学官連携協議会 News Letter, 2013 38 号, p.12 (2013.4.1)
- [13] 成澤 慶宜, 高崎 正也, 石野 裕二, 水野 毅: 電圧制御型並列持続式並列二重磁気浮上におけるゼロパワー制御の実現, 電気学会研究会資料, モータドライブ・リニアドライブ合同研究会, 電気学会, pp.75-77 (2012.12.13)
- [14] 秋山 智広, 石野 裕二, 高崎 正也, 水野 毅, 小原 恭輔: 6 自由度制御型磁気支持ジャイロセンサ性能評価, 電気学会研究会資料, モータドライブ・リニアドライブ合同研究会, 電気学会, pp.71-74 (2012.12.13)
- [15] 水野 毅: 磁気浮上式マイクロジャイロセンサの開発と小型・高精度化, 新製品開発における軽薄短小化への新技術, (株) 技術情報協会, pp.536-545 (2012.10)
- [16] Takeshi Mizuno, Special Issue of MAGDA 2011 Preface, 日本 AEM 学会誌, Vol.20, No.2, pp311 (2012.6)

- [17] 水野 毅：伸びないバネで力を測る，第 8 回 首都圏北部 4 大学発 新技術説明会 資料集，pp.55-59 (2012.6)
- [18] 水野 毅：3.5 並列磁気浮上におけるゼロパワー制御，磁気支持応用技術と環境調和，環境調和型磁気支持応用技術調査専門委員会 編，電気学会技術報告，pp18-20 (2012.4)
- [19] 水野 毅：次世代モノづくりを支える極限メカトロニクス技術，大学発・技術 P R レポート，一般社団法人 首都圏産業活性化協会 (TAMA)，大学技術工房 70 Vol.1, pp.6 (2012.3)
- [20] Yung-Tien Liu, Takeshi Mizuno, Koichi Oka, 第 20 回 MAGDA コンファレンス in Pacific Asia (MAGDA 2011) 会議報告，日本 AEM 学会誌，Vol.20, No.1, pp.303 (2012.3)
- [21] 水野 毅：磁気浮上式回転球体用風洞装置の開発，総合研究機構プロジェクト研究成果報告書，埼玉大学総合研究機構，平成 21 年度，第 8 号，pp.179-180 (2010.11).
- [22] 水野 毅，加藤貴彰：可変キャパシタンスを利用した静電浮上機構のセルフセンシング制御システム，埼玉大学地域オープンイノベーションセンター紀要，第 2 号，COIC2009 年度，pp.84-87 (2010.07)
- [23] 水野 毅，池野順一：連携大学院による地域型新生モノづくり教育推進プロジェクト，2010 年度精密工学会春季大会シンポジウム資料集，pp.61-66 (2010).
- [24] 水野 毅：磁気浮上の新しい試み，精密工学会超精密位置決め専門委員会定例会講演前刷集，No.2009-5, pp.1-23 (2010.1)
- [25] 水野 毅：ものづくり技術の核—精密工学，横幹，第 3 巻，第 1 号，pp.72-74 (2009.04).
- [26] 水野 毅：新規磁気浮上装置，首都圏北部四大学発「新技術説明会」資料集，pp.65-69 (2009.07).
- [27] 水野 毅：可変キャパシタンス機構を利用した容量型アクチュエータ制御システム，第 6 回首都圏北部 4 大学新技術説明会報告資料，pp.23-26 (2009.4)
- [28] 水野 毅：広報・情報部会の最近の活動状況と今後の取組み，精密工学会誌，第 75 巻，第 1 号，pp.175-176 (2009.1).
- [29] 水野 毅：負の剛性を利用した除振装置，機械の研究，第 61 巻，第 1 号，pp.202-209 (2009.1).
- [30] 水野 毅：運動制御を利用した磁気浮上システム，日本 AEM 学会誌，Vol.16, No.4, pp.244-249 (2008.12).
- [31] 新井民夫，鈴木宏正，青山藤詞郎，厨川常元，佐々木健，高増 潔，竹内芳美，古川勇二，水野毅，75 周年記念事業精密工学会技術ロードマップ，(社)精密工学会 (2008.9).
- [32] Kenzo Nonami, Takeshi Mizuno and Mochimitsu Komori, Proceedings of the Eleventh International Symposium on Magnetic Bearings (ISMB-11) (2008.8).
- [33] 水野 毅：第 50 回自動制御連合講演会，計測と制御，47 巻，5 号，pp.446 (2008.5).
- [34] 水野 毅：負の剛性を利用したアクティブ除振装置の開発 (研究課題番号：16360112)，平成 16 年度～平成 18 年度 科学研究補助金 (基盤研究 (B)) 研究成果報告書 (2008.5).

- [35] 鈴木 晴彦, 小豆澤 照男, 水野 毅, 岡 宏一, 磁性応用における融合技術, 平成 20 年電気学会全国大会論文集 (第 5 分冊), S19(7)-S19(10) (2008.3)
- [36] 水野 毅: 荷重支持機構を備えたゼロパワー磁気浮上式除振ユニットの開発, 独立行政法人科学技術振興機構地域発技術シーズ発表会 (ものづくり・情報通信) 発表資料集, pp.9-12 (2007.9).
- [37] 水野 毅: 負の剛性を利用したユニット型除振装置, 精密工学会誌, 第 73 巻, 第 4 号, pp.418-421 (2007.4).
- [38] 水野 毅: ゼロパワー磁気浮上を利用したアクティブ除振装置, 機械の研究, 第 59 巻, 第 4 号, pp.445-452 (2007.4).
- [39] 水野 毅: 負の剛性を利用した革新的除振装置, 首都圏北部四大学発「新技術説明会」資料集, pp.111-115 (2006.12).
- [40] 水野 毅: 先進メカトロニクス研究, 茨城大学イブニングセミナー, 2006 年度前期第 2 回, pp.1-20 (2006.4).
- [41] 水野 毅: 往復形エアポンプ用高効率リニアアクチュエータの開発, 財団法人新生資源協会平成 16 年度研究報告書, pp.71-77 (2006.3).
- [42] Mizuno, T., Vibration Isolation System Using Zero-Power Magnetic Suspension, JSME News, Vol.16, No.1, pp.1, 8-10 (2005.5).
- [43] 水野 毅: 制御工学とメカトロニクス, 社団法人埼玉県経営者協会会報・埼経協ニュース, 324 号, pp.18 (2005.1).
- [44] 水野 毅: 革新的超精密除振装置の開発, 独創的革新技術開発研究提案公募制度平成 13 年度採択課題の成果, 文部科学省, pp.27 (2004.9).
- [45] 水野 毅: 機械工学年鑑『13.機械力学・計測制御「13.1 概論」』, 日本機械学会誌, Vol.107, No.1029, pp.631-635 (2004.8).
- [46] 水野 毅: 革新的超精密除振装置の開発, 埼玉大学 21 世紀総合研究機構, プロジェクト研究成果報告書 (平成 16 年 3 月), pp.90-93 (2004.3).
- [47] 水野 毅: ゼロパワー磁気浮上機構を利用した除振装置の開発, 平成 13~15 年度科学研究費補助金基盤研究(B)(2)研究成果報告書 (2004.3).
- [48] 水野 毅: 第 6 回「運動と振動の制御」国際会議 (MOVIC 2002), 財団法人鹿島学術振興財団 2002 年度年報, pp.193-195 (2003.11).
- [49] 水野 毅, 高崎 正也: 物を浮かす・量る・感じる技術の開発, 精密工学会誌, Vol.69, No.10, pp.1499-1450 (2003.10).
- [50] 水野 毅: 運動と振動の制御, 日本機械学会誌, Vol.106, No.1017, pp.619-620 (2003.8).
- [51] 水野 毅: 革新的超精密除振装置の開発, 埼玉大学 21 世紀総合研究機構, プロジェクト研究成果報告書 (平成 15 年 3 月), pp.101-104 (2003.3).

- [52] 水野 毅：磁気浮上機構を利用した除振装置，精密工学会誌，Vol.68, No.9, pp.1180-1183 (2002.9)
- [53] Takeshi Mizuno and Yoshihiro Suda, Proceedings of the Sixth International Conference on Motion and Vibration Control (MOVIC 2002), The Japan Society of Mechanical Engineers (JSME) (2002.8).
- [54] 水野 毅：ゼロパワー磁気浮上と除振装置への応用，dSPACE ユーザ会 2001 講演資料 (2001.4)
- [55] 水野 毅：動吸振器を利用した質量測定装置の開発，研究成果報告書（平成 11 年度），（財）島津科学技術振興財団，pp.61-66 (2001.1).
- [56] 水野 毅：無重力環境下での質量測定装置の開発，LinX NEWS，Autumn 2000, pp.13 (2000.11).
- [57] 水野 毅：機械工学年鑑（1999 年），機械力学・計測制御，9. 運動と振動の制御，日本機械学会論文集（C編），66 巻，648 号，pp.2474-2475 (2000.8).
- [58] 水野 毅：宇宙で質量を測定するには，日本機械学会誌，Vol.103, No.977, pp.258 (2000.4).
- [59] 水野 毅：運動と振動の制御，日本機械学会誌，Vol.102, No.969, pp.498-499 (1999.8).
- [60] Kazuto Seto, Takeshi Mizuno and Toru Watanabe, Proceedings of Pioneering International Symposium on Motion and Vibration Control in Mechatronics, The Japan Society of Mechanical Engineers (JSME) (1999.4).
- [61] 水野 毅：センサレス磁気浮上，計測と制御，38 巻，2 号，pp.92-96 (1999.2).
- [62] 水野 毅：周期性を利用した制振・制御技術，日本機械学会関東支部ブロック合同講演会-'98 浦和-講演論文集，pp.235-238(1998).
- [63] 水野：伝達関数を用いた磁気軸受制御系の基本構造の解析，第 10 回「電磁力関連のダイナミクス」シンポジウム講演論文集，pp.297-302(1998).
- [64] 水野：センサレスで物を浮かせる方法とその実例，平成 10 年電気学会全国大会シンポジウム，S.25-4，平成 10 年電気学会全国大会講演論文集，pp.S.25-23-S.25-26(1998).
- [65] 水野：セルフセンシング磁気軸受，日本機械学会第 74 期通常総会講演会資料集(V)，pp.410-411(1997).
- [66] Bleuler, H., 水野 毅(訳)：マイクロ磁気軸受，日本機械学会誌，Vol.100, No.943, pp.604-605(1997).
- [67] Kenzo Nonami and Takeshi Mizuno, Proceedings of the Third International Conference on Motion and Vibration Control (3rd MOVIC ), The Japan Society of Mechanical Engineers (JSME) (1996.9).
- [68] 水野 毅：電磁力関連のダイナミクス，日本機械学会論文集（C編），62 巻，600 号，pp.2945 (1996.8).